

研究課題名	膀胱癌に対するアミノレブリン酸(5-ALA)塩酸塩を用いた光線力学診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術(PDD-TURBT)の治療成績、安全性に関する観察研究
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提供する場合その方法）	現在非筋層浸潤性膀胱癌に対しては経尿道的膀胱腫瘍切除術が行われていますが、高い再発率が問題となっています。再発率を下げる目的として、アミノレブリン酸(5-ALA)塩酸塩を用いた光線力学診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術(PDD-TURBT)の有用性が報告されていますが、このような新しい手技のデータはまだ少ないため、情報を収集し解析することで今後の膀胱癌の治療に役立つと考えました。 <u>（光線力学診断補助下とは手術開始 4 時間前にあらかじめアミノレブリン酸を内服していただいたのちに手術を行う方法です。そうすることで腫瘍の部分が発光し、視認しやすくなります）</u>
研究対象者	2023 年以降にベルランド総合病院泌尿器科へ膀胱癌治療のために受診され、アミノレブリン酸(5-ALA)塩酸塩を用いた光線力学診断補助下経尿道的膀胱腫瘍切除術(PDD-TURBT)を施行された方
利用又は提供する試料・情報の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 生年月、癌診断日、手術時間、周術期合併症、病理組織結果、再発率、有害事象
研究予定期間	機関の長の実施許可日 ～ 2028 年 12 月 31 日
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者の範囲	この研究はベルランド総合病院 泌尿器科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又は機関の名称	ベルランド総合病院 泌尿器科 玉田 聡
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 泌尿器科 氏名：玉田 聡 メールアドレス：s_tamada@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）